

令和 6 年度 第1回おおたかの森中学校区 学校運営協議会 議事録

1. 期日 令和 6 年 9 月 20 日(金)

2. 場所 流山市立おおたかの森中学校 会議室

3. 出席者

おおたかの森地区社会福祉協議会会長、	
おおたかの森・おおぐろの森中学校区民生委員児童委員協議会会長	小泉 勲
おおたかの森・おおぐろの森中学校区民生委員児童委員	渡会 有紀子
元おおたかの森小学校PTA会長、元おおたかの森中学校PTA副会長、	
前学校支援コーディネーター	高安 尚子
学校支援コーディネーター	清野 さよ
学校支援コーディネーター	大野 貴子
おおたかの森中学校親の会会長	高上 由賀
おおたかの森小学校PTA会長	花房 美里
おおたかの森中学校校長	塩野 述子
おおたかの森小学校校長	角 龍幸
市野谷小学校校長	松山 秀行

4. 協議内容

① 会長及び副会長の選任

・ 会長 渡会 有紀子 副会長 高安 尚子 に決定

② 学校経営について

【市野谷小学校】 学校教育目標:みらいを切り拓く力の育成

- ・ 合い言葉は「チーム市野谷」。全ては子どもたちのために。市野谷小学校の職員が向かう方向性ベクトルを 1 つに取り組む。
- ・ 10 年後、20 年後に未来を切り拓く人を育てたいというビジョン。
- ・ 学びの充実。これまでの学び+ICT、さらに民間企業等と連携した教育の推進。
- ・ 心の充実。心の天気を活用した声かけや繋がりを目指す。
- ・ チーム市野谷、そこへ地域、保護者を含めた「オール市野谷」で力を合わせて子どもたちを共に育てていきたい。

【おおたかの森小学校】 学校教育目標:未来にはばたく子供を育てる

- ・ 「高め合い」「学び合い」「認め合う、愛ある学校」。1 人ではなく、どの場面においても、友達とのかかわりの中で伸びていってほしいというおもいを込めている。
- ・ 認め合い、温かく仲間と協力する場を増やす。
- ・ 小中連携では、避難訓練や研修などを通して子どもを一緒に育てる。
- ・ 学び合いを強調しながら言語活動に力を入れる。聞き方名人、話し方名人を育てる。
- ・ ボランティアの力を借りた読み聞かせや、身近に本を置く取組などで読書活動に力を入れる。

【おおたかの森中学校】 学校教育目標:主体的に活動し、自立する生徒の育成

- ・ 「主体的」「自立」「協調性」を大事にしたい。
- ・ 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現しようとする生徒の育成。

- ・ こういう生き方がしたい、こんなことをしてみたいという夢を持って欲しい。
- ・ 「教育と探求社」のプログラムを導入したキャリア教育を行う。
- ・ 学年職員全体で生徒に関わる、育てる体制づくり。

【承認決議】

- ・ 各校の学校経営について、全会一致で承認

③ 今後の取組について

【方向性の確認】

- ・ 3校の子どもたちをどう育てたいかというビジョンを協議し決定する。
- ・ ビジョンに向けて、3校と地域、保護者が「何ができるのか」「何をしていくと良いか」を協議する。

【今後の委員追加について】

- ・ 委員は最大 22 人まで。
- ・ 最小限のメンバーでスタートした。ビジョン・方向性決定後、必要な人材を委員として追加していく可能性がある。

【意見交換】

- ・ 大人になっても戻ってきたいところになるように子どもたちを育てたい。地域貢献。
- ・ 駅前広場、商店、企業で働く人々、資源が豊富にある。
- ・ 他地域からの転入者が多い。仲良くなるのが早いのが良いところ。
- ・ 学習意欲が非常に高い地域。保護者のスキルも高い。良い人材が豊富にある。
- ・ 10年20年後、大人になったときに必要な力を付けたい。
- ・ 地域によってある資源が違う。この地域のプラスの資源を活かしていきたい。
- ・ 自治会では 2/3 が新しい住民。祭りを通した人と人との交流。子どもたちのふるさと作りにもなっている。小学生だけでなく中学生も積極的に参加してもらえよう検討したい。

5. 諸連絡

次回 令和 6 年 11 月 12 日(火) 13:20～ おおたかの森小学校会議室